



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2015年5月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします



入院外来の機能分化と 連携に向けて

病院長 石田 陽一

2025年問題が騒がれていますが、まずは平成30年が節目であることをご存知でしょうか？平成30年には医療計画と介護保険事業計画が同時改定になり、診療報酬と介護報酬の同時改定もあります。入院医療においては平成26年度に行われた病床機能報告をもとに今年から地域医療構想策定のプロセスが動き出します。平成28年までの2年間で各病院の立ち位置がほぼ決定して平成29年に翌年からの医療計画策定が行われます。先に書きましたように平成30年は医療介護の計画と報酬の4つが同時改定であり、誰が考えても“一体改革”の形が固まる年になります。当院は急性期・高度急性期を選択して診療のレベルアップを進めているところです。

さて、もう一つの改革は地域包括ケアシステムです。これについては在宅医療を推進して医療費の伸びを鈍化させることが盛んに言われていますが、もう一つ外来診療のあり方についても国は言及しています。つまり大病院の外来は専門性の高い医療を提供し、かかりつけ医との間で機能分化と連携を図るというものです。表向きは病院勤務医の負担軽減ですが医療費対策であることは間違いありません。平成26年改定で主治医機能を有する診療所に地域包括診療加算が付きましたがほとんど取得されていません。しかし、平成32年からはどうでしょうか？この年から新しい専門医制度の総合診療医が誕生します。診療報酬改定で主治医機能がさらに評価されると状況は一変するのではないのでしょうか？

医療制度改革においては入院外来ともに大きな変化を避けることができません。したがって、今後の機能分化と連携に対応できるように今から日常診療のレベルアップと顔の見える関係の構築を進めておく必要があります。

当院では6月29日に地域連携の会を開催して、新たな診療スタッフの紹介を行う予定にしています。是非、多数の方にご参加いただいで交流の場としたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

Contents

入院外来の機能分化と連携に向けて	1
5月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	2
ふれあい新任紹介	2
研修・講演・勉強会のご案内	3
臨床研修センターの紹介	4
医師不在のお知らせ	4
放射線治療の診療休止について(お知らせ)	4
編集後記	4

ふれあい新任紹介



精神保健福祉士 野田 玲菜

4月より精神デイケア科で勤務することになりました、精神保健福祉士の野田 玲菜です。まだまだ、未熟な私ですが、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った支援ができる様に頑張ります。どうぞよろしくをお願いします。



病院ボランティア
篠崎 佳子

研修・講演・勉強会のご案内

6月分

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：6月9日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：「胃切除術後障害とその対策」

外科 藤村 隆

胃切除術後には、ダンピング症候群、小胃症状、消化吸収障害など様々な障害が発生し、体重減少・下痢などから栄養障害に進行してしまう症例が見られる。従来知られていた鉄やビタミンB12欠乏による貧血のみならず、ビタミンB1欠乏によるウェルニク脳症や脚気の報告、ビタミンA、Eの低下・微量元素などの低下も報告されている。さらに近年は高齢化に伴い、タンパク質摂取量低下、Ca・ビタミンD吸収力低下をベースに持つことから、骨障害、サルコペニアなどを来しやすい病態で

あると考えられてきている。

食事指導・栄養指導や、消化薬・止痢剤・栄養剤などの投与により改善する機会が多いが、ビタミンB1、B12など緊急に注射を必要とすることもある。またダンピング症状の強い患者では、症状の発症を恐れて食事量を極端に少なくしていることもあり、食事指導などで改善しない場合パウチ作製などが有用との報告もある。

2) 症例検討（2例）

① 『鋼線刺入固定法による鼻骨骨折整復術』 紹介医：江本医院 江本 二郎先生 形成外科 宮下 松樹

② 『肺MALTリンパ腫と多発性骨髄腫が同時に発見された1例』

紹介医：長森興南クリニック 長森 正則先生 血液内科 寺崎 靖

予告

日時：7月14日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

① ミニレクチャー：『腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術』

呼吸器・血管外科 関 功二

② 症例検討 形成外科・血液内科の2例を予定しています。

2. 内科 CPC

日時：6月23日（火）17：30～

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会 学習会

日時：6月2日（火）17：45～19：15

場所：地域医療研修センター

- テーマ「テレビ会議システムを利用したがん看護事例検討」

4. 感染予防対策学習会

日時：6月8日（月）17：45～19：00

場所：講堂

- テーマ「日本および富山県におけるHIV診療の現状と課題」
- 講師 富山大学附属病院 感染症治療部准教授 鳴河 宗聡先生

5. 糖尿病研究会定例学習会

日時：6月11日（木）17：45～18：30

場所：集団指導室

- テーマ「糖尿病の治療について」
- 講師 内分泌内科医師 清水 暁子

6. 医療機器研修会

日時：6月12日（金）17：45～18：15

場所：集団指導室

- テーマ「用手式人工呼吸器（アンビューバック）の構造と換気法を習得しよう」
- 講師 臨床工学技士 高谷 和幸

7. NST学習会

日時：6月22日（月）18：00～19：00

場所：講堂

- テーマ「栄養指標の血液検査項目」
- 講師 臨床検査技師 中村 政雄

8. 褥瘡対策学習会

日時：6月26日（金）17：45～

場所：集団指導室

- テーマ「褥瘡のリスクアセスメントと看護」
- 講師 看護師 宮田 美智子

9. 接遇力向上研修会

日時：第1回 6月8日（月）13：15～16：00

（時間厳守）

第2回 6月22日（月）13：15～16：00

（時間厳守）

（第1回、第2回とも同じ内容となっております。）

場所：講堂

- テーマ「トラブルを未然に防ぐ接遇力と院内コミュニケーション」
- 講師 置塩 良政（富山市民病院接遇向上委員会委員長）

10. 看護研修

《看護研究研修会》

日時：6月11日（木）15：10～16：40（講義と演習）

場所：講堂

- テーマ「看護研究の査読と指導的役割」

日時：6月16日（火）13：30～14：30（講義）
14：40～16：30（演習）

場所：講堂

- テーマ「看護研究－質問紙の作り方、データ処理の仕方」
- ※ノートパソコンをご持参ください。

《看護助手研修》※1部、2部とも同じ内容です。

日時：6月19日（金）

1部 14：00～15：00（講義と実技）

2部 15：00～16：00（講義と実技）

場所：講堂

- テーマ「清拭 陰部洗浄 おむつ交換」

《現任教育》

日時：6月11日（木）13：30～15：00

場所：講堂

- テーマ「チームワーク・人間関係・コミュニケーション」

《衛星研修 S-QUE E ナース》

日時：6月3日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

- テーマ「院内急変でのファーストエイドとアセスメント」

日時：6月17日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

- テーマ「ドクターコールを極め、救急対応能力を高める」

臨床研修センターの紹介

臨床研修センターでは、初期研修医が医師として、幅広い診察能力を習得できるように、多くの症例を実際に経験するのはもちろんのこと、医学生から医師として成長する中で、チーム医療を担う組織の中心となれる様な医師となるよう、日々実践しています。

現在各科の研修とは別に、月に1回、院内の医師を講師に迎え、過去の症例を改めて振り返るカンファレンスや、各種実技練習なども開催しております。こじんまりとした会なので、直接指導医から一つ一つの手技ができるように、そして一つできたら、そのワンステップ先へと個々に合わせて、練習していきます。時間が過ぎても、道具は使えますので、各自、自由に練習を追加していけるようになっています。

また月に1回、指導医、研修医、そして事務方も交え、定期的にミーティングを行っており、研修予定を決めるのはもちろんのこと、研修医の様々な悩み事（日々の研修はもちろんのこと、今後の進路など）の相談を受けたりしております。



そして新しい試みとしては、昨年度から基本的臨床能力評価試験を実施しており、一年次、二年次、それぞれの時点での実力を全国レベルで評価し、今後の研修の充実に役立てております。

また時には、病院から離れ、酒席なども設け、気分転換もはかり、貴重な研修期間が充実するよう、心がけています。

現在の初期臨床研修では、地域医療は必須であり、当院外の地域の施設の協力も仰ぎながら、若い医師たちの育成を通じて、微力ながら少しでも地域医療の充実に貢献していきたいと考えますので、今後ともよろしくお願いたします。

医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

6月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	19日	寺崎敏	呼吸器血管外科	26日	関
	12日	林		3日～5日	山下
	19日	寺崎靖	整形外科・	5日、12日、19日、26日	澤口
	10日	水野	関節再建外科	25日、26日	坂越
	22日	山内		18日	五嶋
	8日、19日	小川		26日	重本
精神科	5日	長谷川	脳神経外科	25日、26日	宮森
外科・消化器外科・	18日	泉		19日	中尾
乳腺外科	8日～12日	吉川	歯科口腔外科	2日、17日午前	高橋
小児科	5日、17日、18日、19日	金田	緩和ケア内科	19日	船木

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

放射線治療の診療休止について（お知らせ）

当院では、現放射線治療装置の老朽化に伴い、今年度に新たな装置を更新導入します。入替工事のため次の期間で放射線治療の診療を休止します。ご迷惑をお掛けしますがご理解ください。なお、お問い合わせにつきましては、休止期間内でも下記の連絡先までお願いします。

【診療休止の期間】 平成27年8月1日～平成28年3月31日

【更新導入する機器】 アキュレイ社製 TomoHDA（トモセラピー）
（特徴）IMRT（強度変調放射線治療）、IGRT（画像誘導放射線治療）
（予定）平成28年4月稼働



【連絡先】 中央放射線部放射線治療科 TEL 076-422-1112（内線2154）

編集後記

5月に入り、国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入している方の人間ドック・脳ドックの予約がすさまじい勢いで入ってきています。多いときは一日90件から80件も電話が入ってきている状態で、健診科へかかる電話のため病院の外線がかかりにくい状況になっているとも聞きました。皆様の健康に対する意識が非常に高いと感じています。医療機関に勤務している自分はどうなのか、と改めて考えさせられます。皆様も自分の健康を過信することなく今一度考えられてはいかがでしょうか。

健康管理科 荒川 妙子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp